

に学术交流協定を締結したが、当時学部長であった遠藤惣一先生（私の修士課程指導教授である）と国際交流部長であった船本弘毅先生が締結に向けて、中国人民大学の関係者と会談を行った。その船本先生のご退職の記念号に本稿を掲載するにあたって、いつも神様を通じて留学生たちを見守ってくださった先生に心から感謝を申し上げる。また、今年の三月末から四月初めにかけて、高坂健次先生が、李強先生の非公式の要請で中国人民大学社会学部を訪れ、お互いの関心問題や今後の学术交流などについて意見交換をされたとき、私は同席させて頂いた。その会見の中で、李先生は本論文の翻訳作業を私に任された。翻訳をおもとめ頂いた李先生と、私の未熟な翻訳文を1字1句直して下さった高坂先生にお礼を上げたい。

この翻訳が、両学部の更なる学术交流に少しでも役立つことになれば幸いである。

一、問題の提起

近年、市場移行型の社会における社会階層と不平等¹⁾という問題は国際社会学界の注目を浴びている。学者たちが注目している一つの焦点は、元来計画経済を実施した社会主義国家が市場経済に移行した後、社会階層と社会不平等にどのような変化が生じたか、また社会不平等の変遷をもたらしたメカニズムはどのようなものか、という点にある。

この問題に関する論争と理論研究については、孫立平氏の論文『“市場移行理論”からみた不平等の制度主義理論』²⁾（原文：从“市場轉型理論”到關於不平等制度的制度主義理論）で詳しく紹介されている。孫氏の紹介によると、国家社会主義が市場に移行した後、社会階層と社会不平等の変遷における問題は二つの研究と論争にまとめることができる。第一は、市場経済の導入以前の、社会主義計画経済体制における社会不平等と社会階層状況の論争である。ウィリアム・パリッシュ（Wil-

liam Parish）は「反階層化現象」の論点、すなわち社会主義計画経済体制の下では、収入分配はかなり平等的であるという視点を提示している。それに対して、イヴァン・スゼレンニ（Ivan Szeleenyi）、ビクター・ニー（Victor Nee）などの研究では、国家社会主義経済の中の再分配メカニズムは収入分配の平等をもたらさなかつただけではなく、反対に社会の不平等を拡大したことが指摘されている。彼らは、さらに国家社会主義経済の再分配メカニズムを不平等の源泉として見ている。第二は、市場が移行した後の、社会の不平等変遷の研究である。長い間、クズネッツが代表している逆U字型曲線理論はこの領域での研究の主導的地位を占めてきた。この理論によれば、市場が経済発展を推し進める初期では、社会の不平等の程度が明らかに持続的に上昇する。しかし、経済発展レベルが比較的高くなると、福利政策と税収制度の調節によって、社会の不平等の程度は徐々に下がって行く。スゼレンニ、ビクター・ニー、ロナータス（Akos Rona-Tas）、フラキエルスキー（Henryk Flakierski）らは、この逆U字型曲線理論に対して反論したが、彼らは一様に、市場改革以後、社会不平等の程度は上昇しなかつたばかりか、むしろ少し下がったことをいく分なりとも証明した。それによって、彼らは市場改革の平等化効果の観点を提示した。当然ながら、スゼレンニ、ビクター・ニー、ロナータスたちは、その後の研究において市場改革の平等化の論点に対して、さらに限定を加えた。彼らは、平等化効果は国家社会主義経済の市場移行の早期段階にしか生じないが、市場改革がさらに進むと、平等化効果がなくなるだけではなく、反対に社会の不平等を激化させると主張している。とにかく、彼らの研究は経済学の逆U字型曲線理論に対する批判となっている。国家社会主義経済が市場に向かって移行するプロセスにおいては、不平等が正U字型曲線に沿って展開するのであって、逆U字型曲線にしたがうのではない。スゼレンニ、ビクター・ニーたちが行った研究の深い理論

1) 原注①p. 32 本文で使っている「不平等」の概念は、英語の inequality である。社会階層における地位差異現象を指すが、この概念には貶価の意味はない。
2) 原注②p. 32 孫立平『从“市場轉型理論”到關於不平等制度的制度主義理論（一）、（二）』中国書評1995年9月第七期、59頁を参照。